

●第17回環境生理学プレコンgress・久野寧記念賞受賞講演会の報告

京都府立大学 岩崎 有作
京都府立医科大学 八木田和弘

2023年3月13日（月）に京都市左京区の稲盛記念会館にて、第17回環境生理学プレコンgress、および、久野寧記念賞受賞講演会が、対面方式で開催されました。

環境生理学プレコンgressの母体である環境生理グループディナーは、環境生理や体温調節などの研究者がゆっくり話し合う機会を提供すべく、1974年6月に中山昭雄先生（当時、名古屋大・医・第1生理）と永坂鉄夫先生（当時、名古屋大・環境医学研）が札幌で開催された「環境生理・体温調節ディナー」に始まりました。そして、第1回の環境生理学プレコンgressは、2005年5月に仙台で開催された第32回環境生理グループディナー（世話人：中尾光之先生、小山純正先生）より一緒に開催され、現在まで回を重ねてまいりました。2019年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響から、対面での開催が困難な状況でしたが、2022年度となる本会は久方ぶりの対面方式で開催されました。

2023年3月は未だ自粛生活が継続し不安が残る状況にもかかわらず、70名（一般49名、学生21名）がご参加下さいました。また、多くの演題登録を頂き、許された時間内での最大演題数となる16演題を発表頂きました。対面方式ならではの緊

張感ある発表と熱いディスカッションがとても印象的で、楽しく有意義な時間でありました。興味を共にする研究者の皆様と同じ空間で研究について熱く語ることのできる喜びと重要性を感じる会でありました。

久野寧記念賞（久野賞）は、環境生理学に関連した優れた論文を筆頭著者として発表した40歳未満の日本生理学会員を表彰する、学会公認のグループディナー賞です。学位取得後、継続的に業績を挙げ、環境生理学分野での活躍が期待される若手研究者1~2名が毎年表彰されます。1995年度から始まる久野寧記念賞ですが、2022年度は鹿児島大学の比嘉憂理奈博士が受賞されました。受賞講演会では「マウスにおけるリナロール香気誘発性鎮痛にはオレキシン性下行性疼痛抑制系が関与している」という演題で講演を頂きました。今後の大きな発展が期待されるご研究で、講演後の質疑応答も活発に行われました。

本会の最後には、環境生理学関連研究室での昇進・異動などの近況報告がなされ、次回の環境生理学プレコンgress・グループディナーの世話人をお引き受けくださった中村渉先生（長崎大学）からのご挨拶がありました。来年も元気に皆様と直接お目にかかることを楽しみにしております。



授賞式後の写真。受賞者の比嘉憂理奈博士（中央）と共同研究者の桑木共之博士（左）、柏谷英樹博士（右）。